

Nさん： 嶺北園芸部で米ナスを作っていますNです。高知県が推奨してきたISOに関する
こととお伺いしたいです。平成12年に高知県環境保全型畑作振興センターがISO
14001（環境マネジメントシステム規格）の認証を取得し、14年からISOチェン
構想がありました。我々は14年に前知事とのISOの農家の協定をやってきました
。今年度からは自己管理ということで、県がISOに手を抜いたとは思いたくない
ですが、今全国的にやっているGAP（適正農業規範）に力を置いている傾向が見え
ています。園芸部としては、ISOを基準にやってきたので、これを切りたくない
と今年度もう一度ISOでやっていく、自己管理でやっていくことを再構築したわけ
です。今後県としてはISOなのかGAPを主にやっていくのか、その方向性をお願い
したいです。

環境農業推進課長： 県としてはISOをずっと進めてきました。JA土佐れいほくさんは、
非常に素晴らしい取り組みで国のいろいろな表彰制度の中でも認められていると確
認しています。高知県をどういう形で園芸産地として売っていくかという中で、今県
としてはエコシステムという形で80%の販売をやっているという思いを持って取
り組んでいます。それをベースにして、高知県の園芸品を全国に売っていくと現在
やっていますISOは、さらにその上の素晴らしいことだと思いますので、
私たちが今やっているのは80%のエコシステムと合わせて、生産工程管理をしてい
く中でGAPをやっている。GAPもISOも、PDCAでやるという考え方は基
本的には一緒ではないかと思えます。私たちが目指すところはISOでやっていただ
いていますものを、GAPの中でもやはり目指していきたいと考えていますので、今
後もISOについては、ぜひ続けていただきたいと、県としても考えているところ
です。